

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)

令和7年度

科目名 介護の基本 I		授業方法 講義・演習		担当教員 西本 房乃		実務経験の有無 有	
授業回数 30回		時間数(単位数) 60時間 (2)		配当学年・時期 1学年・前期		必修・選択 必修	
[授業の目的] 介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする							
[授業の概要] 介護の基本では、 <u>介護福祉の基本となる理念を理解し、介護福祉士としての倫理に基づき、その役割と機能である、介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ自立支援、介護実践における安全とリスクマネジメント、他職種連携、介護従事者の安全に関して、介護実践の基礎となる知識を学ぶ</u>							
[到達目標] (1) 複雑化・多様化・高度化する介護ニーズ及び介護福祉を取り巻く状況を社会的な課題として捉え、 <u>尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解</u> できるようにする (2) 地域や施設・在宅の場合や、介護予防や看取り、災害時等の場面や状況における、 <u>介護福祉士の役割と機能を理解</u> できるようにする (3) <u>介護福祉の専門性と倫理を理解し、介護福祉士に求められる専門職としての態度を養う</u>							
[授業計画]							
回	授業内容			方 法		備 考	
1	介護の成り立ちと介護を取り巻く状況 介護サービスと家族介護のバランス			講 義 演 習			
2	介護福祉の歴史① 老人福祉法の制定に至るまで			講 義			
3	介護福祉の歴史② 1970・1980年代			講 義			
4	介護福祉の歴史③ 1990・2000年以降			講 義			
5	今後対応が必要な介護問題を考える			演 習			
6	介護福祉の理念とは・尊厳を支える介護			講 義			
7	自立を支える介護			講 義			
8	尊厳を支える介護・利用者主体の自立を支えるために必要な自己決定権			演 習			
9	社会福祉士及び介護福祉法			講 義			
10	社会福祉士及び介護福祉法に関連する諸規定			講 義			
11	心身の状況に応じた介護を考える			演 習			
12	介護福祉士の義務規定						
13	介護福祉士の活動の場と役割 地域包括ケアシステム			講 義			
14	介護福祉士の活動の場と役割 介護予防			講 義			
15	介護福祉士の活動の場と役割 医療的ケア			講 義			
16	介護福祉士の活動の場と役割 ターミナルケア・災害時支援			講 義			
17	介護福祉士の活動の場と役割			演 習			
18	介護福祉士に求められる役割とその養成			講 義			
19	介護福祉士を支える団体			講 義			

20	介護福祉士を支える団体	講 義	
21	介護福祉士を支える団体	講 義	
22	介護福祉士を支える団体	講 義	
23	介護福祉士を支える団体についてまとめ発表	演 習	
24			
25	介護福祉士の倫理 介護実践における倫理	講 義	
26	介護福祉士の倫理 倫理的対応が必要な事例	講 義	
27	介護福祉士の倫理	演 習	
28	利用者の尊厳を保持した倫理的介護実践	演 習	
29			
30	筆記テスト		

[使用テキスト・参考文献] 介護福祉士養成講座 3 介護の基本 I	[評価方法] 筆記試験 80% 授業態度 10% 出席状況 10%
--	--

科目名 介護の基本Ⅱ		授業方法 講義・演習	担当教員 西本 房乃	実務経験の有無 有
授業の回数 30回	時間数(単位数) 60時間(2)	配当学年・時期 2学年・前期	必修・選択 必修	
[授業の目的] 介護福祉の基本となる理念や、 <u>地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみ</u> を理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする				
[授業の概要] 介護の基本では、介護福祉の基本となる理念を理解し、介護福祉士としての倫理に基づき、その役割と機能である、介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ自立支援、介護実践における安全とリスクマネジメント、他職種連携、介護従事者の安全に関して、介護実践の基礎となる知識を学ぶ				
[到達目標] (1) ICFの視点に基づくアセスメントを理解し、エンパワメントの観点から個々の状態に応じた自立を支援するための環境整備や介護予防、リハビリテーション等の意義や方法を理解できるようにする (2) 介護を必要とする人の生活の個別性に対応するために、生活の多様性や社会とのかかわりを理解できるようにする (3) 介護を必要とする人の生活を支援するという観点から <u>介護サービス</u> や <u>地域連携</u> など、フォーマル、インフォーマルな支援を理解できるようになる				
[授業計画]				
回	授業内容	方 法	備 考	
1	介護福祉における自立支援① 考え方・利用者理解の視点・意思決定支援	講 義		
2	介護福祉における自立支援② 生活意欲と活動・就労支援・自立と生活支援	講 義		
3	利用者の意思決定を支援する	演 習		
4	ICFの考え方 介護におけるICFのとらえ方	講 義		
5	高齢者のストレングス	演 習		
6	自立支援とリハビリテーション① 実際・障害の理解と評価	講 義		
7	自立支援とリハビリテーション② 自立のとらえ方・介護福祉士の役割	講 義		
8	リハビリテーションの理念・介護福祉士の役割	演 習		
9	自立支援と介護予防① 介護予防の概要・種類と展開・高齢者の身体特性	講 義		
10	自立支援と介護予防② 介護予防の実際・介護福祉士の役割	講 義		
11	介護予防における介護福祉士の役割	演 習		
12	介護福祉を必要とする人の理解① 生活とは・大切な要素・特性・しづらさに対する支援	講 義		
13	介護福祉を必要とする人の理解② 介護福祉を必要とする人たちの暮らし	講 義		
14	介護福祉を必要とする人の理解③ 「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解	講 義		
15	介護福祉を必要とする人の理解④	講 義		

	生活のしづらさの理解とその支援		
16	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ	講 義	
17	生活を支えるフォーマルサービス（社会的サービス）とは	講 義	
18	生活を支えるインフォーマルサービス（私的サービス）とは	講 義	
19	生活を支えるフォーマルサービス（社会的サービス）	演 習	
20	インフォーマルサービス（私的サービス）とは	演 習	
21	GWをして発表準備（PPT作成）	演 習	
22		演 習	
23	地域連携①	講 義	
24	地域連携②	講 義	
25	地域連携③	講 義	
26	利用者の意思決定を支援する	演 習	
27	高齢者のストレングス	演 習	
28	リハビリテーションの理念・介護福祉士の役割	演 習	
29	介護予防における介護福祉士の役割 今までの演習を含め発表会を実施	演 習	
30	筆記テスト		
[使用テキスト・参考文献] 介護福祉士養成講座 3 介護の基本Ⅰ 介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ		[評価方法] 筆記試験 80% 授業態度 10% 出席状況 10%	

科目名 介護過程Ⅰ		授業方法 講義・演習	担当教員 西本房乃・森田婦美子	実務経験の有無 有
授業の回数 30回	時間数(単位数) 60時間(2)	配当学年・時期 1学年・前期	必修・選択 必修	
[授業の目的] 本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を習得する学習とする				
[授業の概要] 介護過程では、 <u>介護過程の意義・目的及び介護過程展開の一連のプロセスに関する基礎的理解について</u> 、介護総合演習や、介護実習、生活支援技術など、他の科目との連動を視野に入れて、介護過程を展開できる能力を養う				
[到達目標] 本人の望む生活の実現に向けて、生活環境の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を習得することができる				
[授業計画]				
回	授業内容	方 法	備 考	
1	介護過程とは・目的・意義	講 義		
2	介護過程の全体像	講 義		
3	介護過程の展開の理解	演 習		
4				
5	演習後の発表 どう考えたのか	演 習		
6	介護過程における事例検討(ケースカンファレンス)	講義・演習		
7	介護過程における事例検討(ケースカンファレンス)	講義・演習		
8	介護過程における事例研究(ケーススタディ)	講 義		
9	倫理的な配慮	講 義		
10	介護福祉分野で使用する「計画」	講 義		
11	介護過程の理解① 介護過程の展開	講 義		
12	介護過程の理解② アセスメント	講 義		
13	介護過程の理解③ 介護計画の立案	講 義		
14	介護過程の理解④ 介護の実施	講 義		
15	介護過程の理解⑤ 評価	講 義		
16	アセスメント 情報収集の意義	講 義		
17	情報収集の方法 (ICFモデルの活用)	講 義		
18	情報収集とは・情報収集とICF	演 習		
19				
20	アセスメント(解釈・関連付け・統合化)①	講 義		
21	アセスメント(解釈・関連付け・統合化)②	講 義		
22	アセスメント(解釈・関連付け・統合化)③	講 義		
23	アセスメントの確認・情報の解釈をしてみよう	演 習		
24	情報の質と量の大切さを考える			
25	介護計画の立案	講 義		
26	介護の実施	講 義		
27	評価	講 義		
28	介護過程における評価の確認	演 習		
29	介護計画の立案にいける留意点	演 習		
30	筆記テスト			

[使用テキスト・参考文献] 介護福祉士養成講座 9 介護過程	[評価方法] (試験やレポートの評価基準など) 筆記テスト 60% 提出物 20% 授業態度 10% 出席状況 10%
---	---